

---

# ExtraView アップグレード・ガイド (Oracle データベース/Windows 用)

2011 年 7 月



---

## 改定履歴

Rev.	Date	Modification
[N]	2011-5-26	Windows 版 ExtraView6.5.1 向け ExtraView アップグレード・ガイド作成
[1]	2011-7-7	ライセンス設定方法と、ナビゲーション・バーの変更方法を追記
[2]	2011-8-25	upgrade.bat の STEP 数と STEP 実行例を修正



# 目次

---

1. はじめに .....	3
2. 準備 .....	4
インストール関連ファイルのダウンロード .....	4
ライセンス・ファイルの申請 .....	4
ExtraView.zip の展開 .....	4
言語モードの確認 .....	5
アップグレード対象の ExtraView を停止 .....	5
アップグレード対象の ExtraView データベースのバックアップ .....	6
アップグレード対象の ExtraView アプリケーションのバックアップ .....	6
3. ExtraView ソフトウェアのセットアップ .....	8
ExtraView 本体のセットアップ .....	8
Java Runtime Environment (JRE)のインストール .....	9
Configuration.properties (ExtraView の設定ファイル) の設定 .....	10
Tomcat の起動パラメータ設定 .....	11
4. ExtraView データベースのアップグレード .....	12
データベースアップグレードパッチの実行 .....	12
ExtraView を再起動 .....	22
ナビゲーション・バーの設定を変更する(該当ユーザのみ) .....	23
5. 付録 .....	24
ExtraView 環境のバックアップ .....	24
ExtraView 環境のリストア .....	26

# 1. はじめに

---

このガイドでは、Windows プラットフォームにインストールされている ExtraView のアップグレード方法について説明します。

本文中に出現する Apache、Apache Tomcat（以下、Tomcat）、Perl、Java などの周辺アプリケーションは、適宜インストールされているものとします。

本文中、操作の説明やコマンドラインの実行例を示している箇所において、**Bold** で記述している部分は実際に開発者が入力する文字列を表します。また、*Italic* になっている部分は、実際にコマンドを入力するとき、必要に応じて適当な文字列に置き換えることを表します。

このガイドについてご不明な点などがございましたら、どうぞ遠慮なく、東陽テクニカのテクニカル・サポート (ss\_support@toyo.co.jp) 宛にお問い合わせ下さい。

## 2. 準備

---

### インストール関連ファイルのダウンロード

東陽テクニカのホームページ (<http://www.toyo.co.jp/ss/extraview/>) から「インストール関連ファイル (ExtraView.zip)」をダウンロードします。アクセスするためのユーザ名/パスワードをご存じでない場合は、東陽テクニカのテクニカル・サポート ([ss\\_support@toyo.co.jp](mailto:ss_support@toyo.co.jp)) までお問い合わせ下さい。

### ライセンス・ファイルの申請

バージョン 6.5.1 から、ライセンス・ファイルの設定方法が変更されました。6.5.1 にアップグレードするためには、新しいライセンス・ファイルが必要です。新しいライセンス・ファイルは、アップグレード作業の中でインストールします。お手数ですが、**アップグレード作業を開始する前に、新しいライセンス・ファイルを申請してください。**

ライセンスの申請には、以下の情報が必要となります。

[ADMIN] > [システム制御] > [会社情報の設定] を選択し、以下の 4 つのキーの情報を東陽テクニカのテクニカル・サポート ([ss\\_support@toyo.co.jp](mailto:ss_support@toyo.co.jp)) 宛てにお送りください：

LICENSEE

LICENSE\_METHOD

NUM\_CONCURRENT\_USERS

NUM\_LICENSE\_USERS

なお、ライセンスは、ExtraView 社より発行されてから 5 日間以内にインストールする必要があります。アップグレード作業を行う日が決定しましたら、ライセンス申請とともに、アップグレード作業の予定日をお知らせください。 予定日の 2 日前にライセンスをお届けできるよう、手配いたします。

### ExtraView.zip の展開

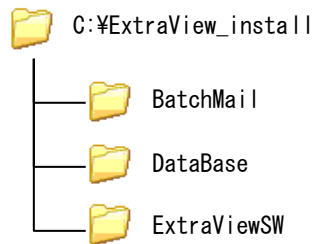
ここでは、ExtraView を C:\¥ExtraView¥Tomcat 配下にインストールするものとして説明します。C:\¥ExtraView¥Tomcat は、Tomcat をインストールしたディレクトリを想定しています。Tomcat のインストールに関しましては、「ExtraView セットアップ・ガイド (Oracle データベース/Windows 用)」をご参照下さい。

同様に、Apache については C:\¥ExtraView¥Apache ディレクトリにインストールしたと想定しています。Apache のインストールに関しましても、「ExtraView セットアップ・ガイド (Oracle データベース/Windows 用)」をご参照下さい。

インストール場所がこのガイドに記載されているディレクトリと異なる場合は、実際のインストール場所に置き換えて説明をお読み下さい。特別な理由がなければ、本書と同じ場所にインストールすることによって、セットアップ時の余計なトラブル（例えば、Apache や Tomcat の設定ファイルやバッチファイルは、ファイルパス中の空白文字を認識できない場合があります）を避けることができます。

以降の手順に進む前に、ダウンロードした ExtraView.zip を適当なディレクトリ（例えば、C:\¥ExtraView\_install）に保存し、zip 形式を展開しておきます。展開した結果、次のようになります。

ここで示す C:\¥ExtraView\_install ディレクトリは、単なる zip ファイルの展開場所であり、ExtraView のインストール先ではありません。ご注意下さい。



## 言語モードの確認

ExtraView のすべての動作設定から DEFAULT\_LANGUAGE と DEFAULT\_REGION の値を確認して下さい。

実行手順：

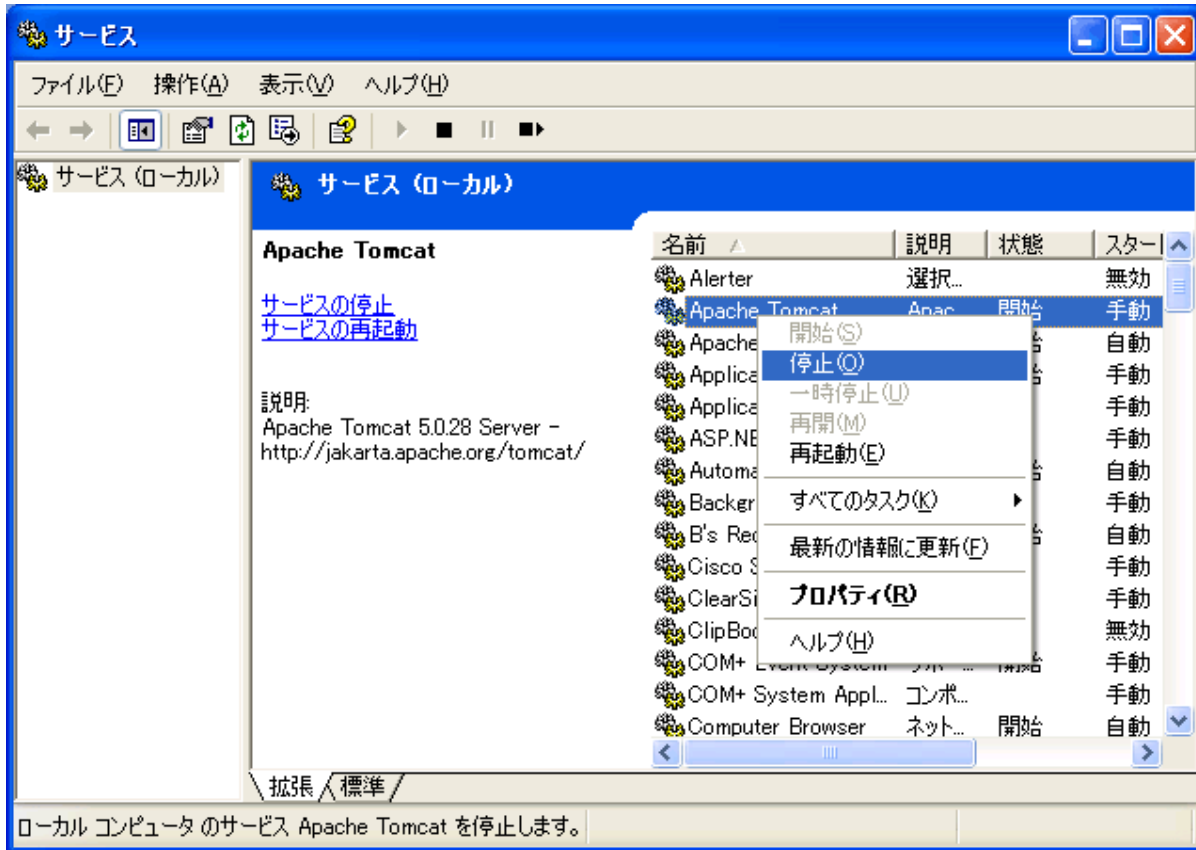
1. アップグレード対象の ExtraView にサインオンします。
2. [ADMIN] > [システム制御] > [すべての動作設定]を選択します。
3. 一覧の中から DEFAULT\_LANGUAGE と DEFAULT\_REGION を確認して、値を控えておきます。

## アップグレード対象の ExtraView を停止

これからアップグレードを行う対象の ExtraView アプリケーションを停止します。

Windows サービスメニューの Apache、Tomcat、ExtraViewBatchMail を停止します。（既に停止している場合は必要ありません。）

実行例を以下に示します。



## アップグレード対象の ExtraView データベースのバックアップ

アップグレード失敗時に、アップグレード前の状態に確実に戻れるようにするために、これからアップグレードを行う対象の **ExtraView データベースを必ずバックアップして下さい。**

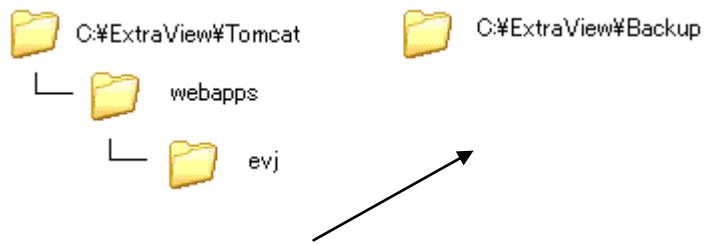
5. 付録を参考にして、データベースのダンプファイルを出力します。このダンプファイルをインポートすることで、アップグレード前の状態のデータベースが構築できます。

## アップグレード対象の ExtraView アプリケーションのバックアップ

アップグレード失敗時に、アップグレード前の状態に確実に戻れるようにするために、これからアップグレードを行う対象の **ExtraView アプリケーションを必ずバックアップして下さい。**

実行手順：

4. C:\¥ExtraView¥Tomcat¥webapps ディレクトリ内にある evj ディレクトリを、C:\¥ExtraView¥Backup ディレクトリに**移動**します。



ダンプファイルのインポート後に、移動したファイルを元の位置に戻すことで、アップグレード前の状態の ExtraView が構築できます。

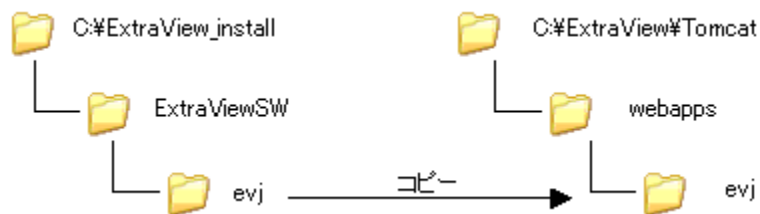
### 3. ExtraView ソフトウェアのセットアップ

#### ExtraView 本体のセットアップ

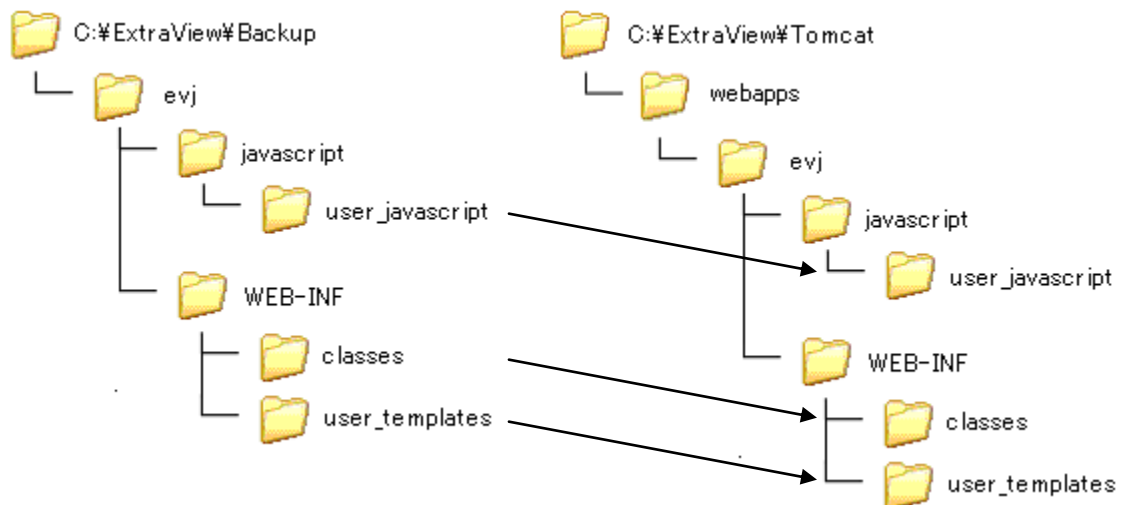
ExtraView 本体のバイナリをセットアップします。

実行手順：

5. C:\%ExtraView\_install%\ExtraViewSW\evj6515-84.zip を C:\%ExtraView\_install%\ExtraViewSW 直下に解凍します。
6. 作成された evj ディレクトリを、C:\%ExtraView%\Tomcat\webapps 直下にコピーします。



7. ExtraView をカスタマイズしてご利用になっている場合 (カスタム Java コードやカスタム JavaScript などをご利用になっている場合) は、C:\%ExtraView%\Backup に退避したファイルのうち、user\_javascript、classes、user\_templates ディレクトリ内に配置されているものを、C:\%ExtraView%\Tomcat\webapps 内の対応するディレクトリ配下にコピーします。



カスタム Java コードはコピーしただけでは正しく動作しないことがあります。動作しない場合は、新バージョンの ExtraView のライブラリを用いてコードを再コンパイルして下さい。

8. C:\ExtraView\Backup に退避したファイルのうち 2008 年 2 月 8 日 13 時 10 分以降に作成されたファイルは、別途ユーザー様が自身が追加されたファイルになります。それらも C:\ExtraView\Tomcat\webapps 内の対応するディレクトリ配下にコピーします（例えば、images\CompanyLogo.gif）。
- ただし、WEB-INF\data ディレクトリ配下のファイルはアップグレード用に更新されている可能性があるファイルですので、コピーする必要はありません。

## Java Runtime Environment (JRE) のインストール

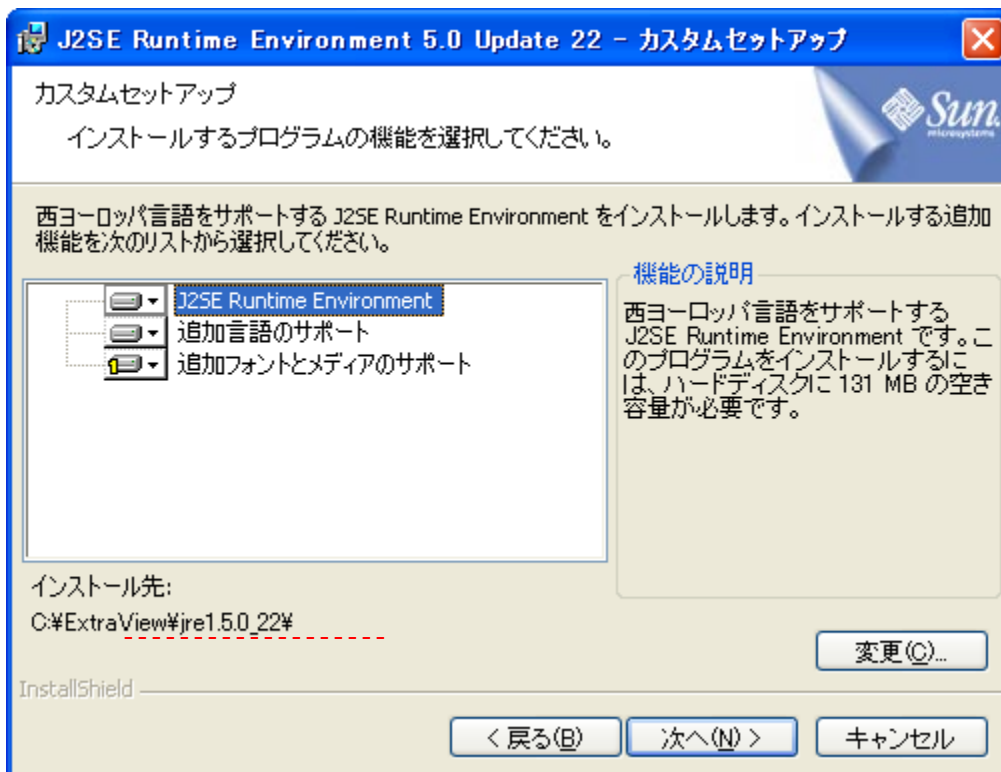
JRE1.5 または JRE1.6 がインストールされていないマシン上に ExtraView をインストールする場合は、次のどちらかの URL から JRE1.5 または JRE1.6 を入手します。

<http://java.sun.com/j2se/1.5.0/ja/download.html>

<http://java.sun.com/javase/ja/6/download.html>

入手したインストーラの手順に従って JRE をインストールして下さい。

インストール JRE を ExtraView 以外で使用しないのであれば、インストール先ディレクトリを変更して、C:\ExtraView 配下に JRE をインストールすることをお奨めします。



## Configuration.properties (ExtraView の設定ファイル) の設定

このファイルは、C:\ExtraView\Tomcat\webapps\evj\WEB-INF\configuration 直下に存在します。

新バージョンになって追加された項目以外は、過去バージョンの情報をそのまま使うことができます。過去バージョンの ExtraView の configuration.properties を参照しながら設定して下さい。

実行手順：

9. C:\ExtraView\Backup\evj\WEB-INF\configuration\Configuration.properties をテキストエディタで開きます。

```
DB_HOST      = dbhost
DB_SID       = dbsid
DB_USER      = dbuser
DB_PASSWORD  = dbpassword
DB_URL       =
jdbc:oracle:thin:@(DESCRIPTION=(ADDRESS=(HOST=dbhost) (PROTOCOL=tcp) (PORT=1521)) (CONNECT_DATA=(SID=dbsid )))
```

10. C:\ExtraView\Tomcat\webapps\evj\WEB-INF\configuration\Configuration.properties をテキストエディタで開いて、赤字の値を上記と同等の設定になるように編集します。

```
DB_HOST      = dbhost
DB_USER      = dbuser
DB_PASSWORD  = dbpassword
DB_URL       =
jdbc:oracle:thin:@(DESCRIPTION=(ADDRESS=(HOST=dbhost) (PROTOCOL=tcp) (PORT=1521)) (CONNECT_DATA=(SID=dbsid )))
```

DB\_HOST : データベース・サーバの名前、もしくは IP アドレスです。  
DB\_USER : データベース・ユーザの名前 (ここでは extraview) です。  
DB\_PASSWORD : DB\_USER のパスワード (ここでは extraviewpw) です。  
HOST : DB\_HOST と同じです。  
SID : DB\_SID と同じです。

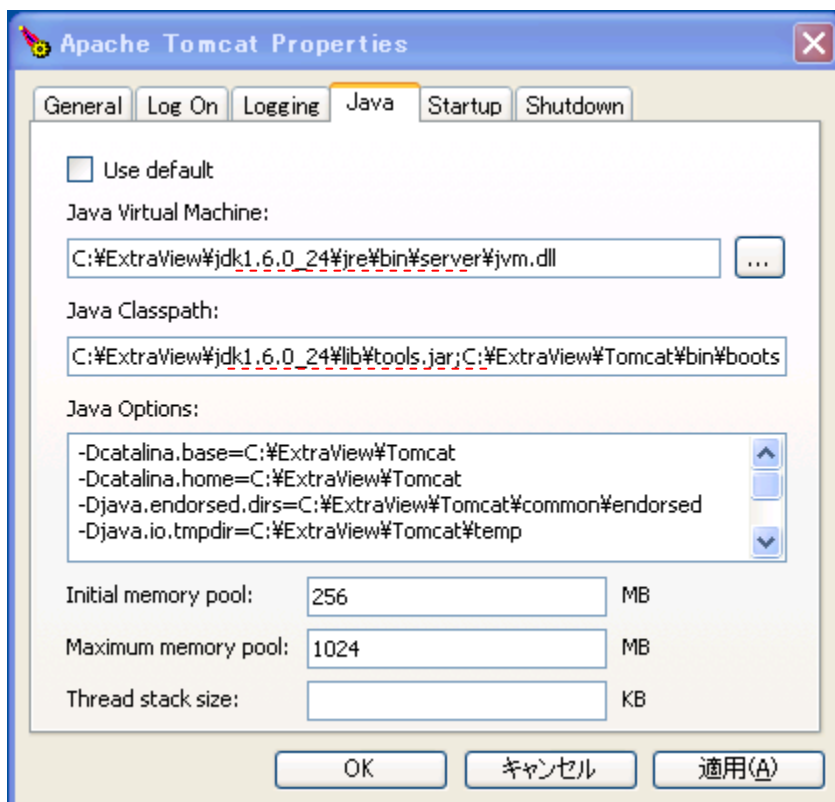
11. ※ 以前のバージョンでは DB\_SID が存在していましたが、新しいバージョンで不要になりました。

## Tomcat の起動パラメータ設定

Tomcat が JRE1.5 未満のバージョンで稼働している場合は、Tomcat の起動パラメータを設定しなおす必要があります。

実行手順：

12. [スタート] > [プログラム] > [Apache Tomcat] > [Configure Tomcat] を実行します。
13. Apache Tomcat Properties が起動しますので、Java タブを開きます。
14. Java Virtual Machine に JRE1.5 または JRE1.6 の jvm.dll、Java Classpath に JRE1.5 または JRE1.6 の jar を設定します（既存の設定を参考にして同等の設定に変更して下さい）。
15. OK をクリックします。



## 4. ExtraView データベースのアップグレード

### データベースアップグレードパッチの実行

現在使用している ExtraView データベースを、6.5.1 で使用するデータベース構造に適合させるために、データベースパッチを実行します。

**アップグレードパッチを実行する前に、新しいライセンス・ファイルがあることをご確認ください。パッチファイル実行中に、ライセンス・ファイルのインストール作業が必要です。**

実行手順：

16. C:\¥ExtraView\_install¥ExtraViewSW ¥data.zip を C:\¥ExtraView\_install¥ExtraViewSW 直下に解凍し、C:\¥ExtraView\_install¥ExtraViewSW ¥data 配下のバッチファイルの内容を編集します。  
installKeyWindows.bat の編集結果例：

```
installKey.bat C:\¥ExtraView¥jdk1.5.0_22 C:\¥ExtraView¥Tomcat
C:\¥ExtraView¥Tomcat5.0¥webapps¥evj %1
```

runWindows.bat の編集結果例：

```
runPatches.bat C:\¥ExtraView¥jdk1.5.0_22 C:\¥ExtraView¥Tomcat
C:\¥ExtraView¥Tomcat5.0¥webapps¥evj
```

upgradeMessageWindows.bat の編集結果例：

```
upgradeMessage.bat C:\¥ExtraView¥jdk1.5.0_22 C:\¥ExtraView¥Tomcat
C:\¥ExtraView¥Tomcat5.0¥webapps¥evj
```

upgrade.bat の編集結果例：

```
rem == Configuration.properties ファイルを参照して次の値を設定して下さい ==
set DB_SID=dbsid
set DB_USER=dbuser
set DB_PASSWORD=dbpassword

rem == JAVA のインストールディレクトリを設定して下さい ==
set JAVA_HOME=C:\¥ExtraView¥jdk1.5.0_22

rem == TOMCAT のインストールディレクトリを設定して下さい ==
set TOMCAT_HOME=C:\¥ExtraView¥Tomcat

rem == ExtraView 6.5.1 のインストールディレクトリを設定して下さい ==
set EV_BASE=%TOMCAT_HOME%¥webapps¥evj
```

- ※ 色付きの部分をマシン環境に合わせて変更して下さい。
- ※ 緑色の部分は、Configuration.properties を参照して値を指定して下さい。
- ※ 赤色の部分には、JRE1.5 または JRE1.6 のホームディレクトリを指定して下さい。
- ※ 紫色の部分には、Tomcat のホームディレクトリを指定して下さい。
- ※ 橙色の部分には、ExtraView 5.2.2.2 のときのホームディレクトリを指定して下さい。
- ※ 空白文字を使用してはいけません。空白文字を含まないパスを指定して下さい。

17. 上述の「言語モードの確認」で確認した DEFAULT\_LANGUAGE と DEFAULT\_REGION の組み合わせが en と US になっていた場合は、次のファイルの内容を空にして下さい。

```
C:\¥ExtraView_install¥ExtraViewSW ¥data¥dbpatches¥oracle¥TY_to_english.sql
C:\¥ExtraView_install¥ExtraViewSW ¥data¥dbpatches¥oracle¥TY_to_japanese.sql
```

18. C:\¥ExtraView\_install¥ExtraViewSW ¥data ディレクトリの内容を  
C:\¥ExtraView¥Tomcat¥webapps¥evj¥WEB-INF¥data ディレクトリに上書きコピーします。

```
C:\¥ExtraView_install¥ExtraViewSW ¥data
↓ コピー(上書き)
C:\¥ExtraView¥Tomcat¥webapps¥evj¥WEB-INF¥data
```

19. コマンドプロンプトを開いて、次のディレクトリに移動します。

```
cd C:\¥ExtraView¥Tomcat¥webapps¥evj¥WEB-INF¥data
```

20. コマンドプロンプトから次のコマンドを入力します。

```
upgrade.bat
```

このコマンドにより、大小6つのSTEPからなる処理が実行されます。

注意1:

アップグレード処理は、過去バージョンのExtraViewに、**BSMITH**または**TARON**というユーザIDのユーザが登録されていないことを前提にして動作するようになっています。

これらのユーザが登録されている場合は、東陽テクニカのテクニカル・サポート (ss\_support@toyo.co.jp) 宛にご相談下さい。

注意2:

**STEP4を実行する前に、ApacheとTomcatを起動しておく必要があります。**

注意3:

**STEP4の実行中に、ライセンスをインストールする必要があります。**

手順については、後述のSTEP4の画面例 -- ライセンス設定 をご参照ください。

注意4:

以下の説明では、言語設定が「英語(アメリカ合衆国)/English(United States)」になっているユーザで操作した場合のメニュー名や画面名を使用している場合があります。

STEP1、STEP2、STEP3、STEP6:

これらのSTEPのアクションは自動的に処理されます。

各STEPの実行が完了するごとに、“続行するには何かキーを押して下さい・・・”というプロンプトが出力されます。エラーメッセージ等が出力されていないことを確認してから、キーを押してアップグレードを続行して下さい。

STEP4、STEP5:

これらのSTEPはExtraViewを操作して、手動で実行する必要があります。

STEP4またはSTEP5に到達すると、コンソール上に実行手順が表示され、“続行するには何かキーを押して下さい・・・”というプロンプトが出力されます。

手順に従ってExtraViewを操作し、手順が終わったら、コマンドプロンプトに戻り、何かキーを押してアップグレードを続行して下さい。

これらのSTEPで使用するファイルは、C:¥ExtraView¥Tomcat¥webapps¥evj¥WEB-INF¥data¥ExtraViewMetaData.xmlです。両方とも同じファイルを使用します。

21. STEP6 が終了すれば、アップグレード完了です。
22. この状態でいったん ExtraView データベースのバックアップを取得して下さい。

各処理の実行結果例を以下に示します。

upgrade.bat実行直後の状態:

コマンドプロンプト
<pre>; ##### ExtraViewのアップグレードを開始します。 ##### アップグレードを開始する前にExtraViewデータベースの ##### バックアップを必ず取得して下さい。 ##### バックアップを取得していない場合は、このバッチを ##### 強制終了して下さい。 続行するには何かキーを押して下さい . . .</pre>

STEP1の実行結果例:

コマンドプロンプト
<pre>cat¥common¥lib¥servlet.jar;C:¥ExtraView¥Tomcat¥lib¥common¥servlet.jar;C:¥E xtraView¥Tomcat¥common¥lib¥servlet-api.jar;C:¥ExtraView¥Tomcat¥lib¥servlet -api.jar;C:¥ExtraView¥Tomcat¥webapps¥evj¥WEB-INF¥lib¥evj6515-84.jar co m.extraview.util.dbpatches.SQLRunner 6 TY_to_english.sql Attempting to Open Log File: C:¥ExtraView¥Tomcat¥webapps¥evj¥WEB-INF¥l ogs¥EVJ.log data directory path = C:¥ExtraView¥Tomcat¥webapps¥evj¥WEB-INF¥data¥dbp atches¥oracle¥TY_to_english.sql  C:¥ExtraView¥Tomcat¥webapps¥evj¥WEB-INF¥data&gt;rem sqlplus extraview/ev@ ev @migration¥to_english.sql ##### STEP1が完了しました。  C:¥ExtraView¥Tomcat¥webapps¥evj¥WEB-INF¥data&gt;pause 続行するには何かキーを押して下さい . . .</pre>

STEP2の実行結果例:

```
コマンドプロンプト
cat5.0¥webapps¥evj6515-84¥WEB-INF¥lib¥evj6515-84.jar
com.extraview.util.dbpatches.SQLRunner 6 5.2.2_ITEM_TR.sql
Attempting to Open Log File: C:¥ExtraView¥Tomcat¥webapps¥evj¥WEB-INF¥l
ogs¥EVJ.log
data directory path = C:¥ExtraView¥Tomcat¥webapps¥evj¥WEB-INF¥data¥dbp
atches¥oracle¥5.2.2_ITEM_TR.sql

C:¥ExtraView¥Tomcat¥webapps¥evj¥WEB-INF¥data>pause
続行するには何かキーを押して下さい . . .
##### STEP2が完了しました。

C:¥ExtraView¥Tomcat¥webapps¥evj¥WEB-INF¥data>pause
続行するには何かキーを押して下さい . . .
```

STEP3の実行結果例:

```
コマンドプロンプト
cat¥common¥lib¥servlet.jar;C:¥ExtraView¥Tomcat¥lib¥common¥servlet.jar;C:¥E
xtraView¥Tomcat¥common¥lib¥servlet-api.jar;C:¥ExtraView¥Tomcat¥lib¥servlet
-api.jar;C:¥ExtraView¥Tomcat¥webapps¥evj¥WEB-INF¥lib¥evj6515-84.jar co
m.extraview.util.dbpatches.SQLRunner 6 TY_sql_2.sql
Attempting to Open Log File: C:¥ExtraView¥Tomcat¥webapps¥evj¥WEB-INF¥l
ogs¥EVJ.log
data directory path = C:¥ExtraView¥Tomcat¥webapps¥evj6515-84¥WEB-INF¥data¥dbp
atches¥oracle¥TY_sql_2.sql

C:¥ExtraView¥Tomcat¥webapps¥evj6515-84¥WEB-INF¥data>rem sqlplus extraview/ev@
ev @migration¥TY_sql_2.sql
##### STEP3が完了しました。

C:¥ExtraView¥Tomcat¥webapps¥evj¥WEB-INF¥data>pause
続行するには何かキーを押して下さい . . .
```

STEP4のプロンプト例:

コマンドプロンプト

```
;  
##### STEP4: ExtraViewを起動して翻訳メッセージをインポートして下さい。  
    1) adminユーザでサインオンして下さい。  
    2) [ADMIN] - [Use Advanced Administration Mode] - [Import/Export] -  
[Metadata XML Import]の順で操作してください。  
    ===== 重要 =====  
    3) Actions の [Update/Merge] を選択して下さい。  
    ===== 重要 =====  
    4) [参照]ボタンを押して、migration¥ExtraViewMetaData.xmlを選択してくだ  
さい。  
    5) [Upload XML file]ボタンを押して下さい。  
    6) 進捗バーが現れて結果画面が表示されるまで暫く待ちます。  
##### 6)が終われば、STEP4の完了です。  
  
C:¥ExtraView¥Tomcat¥webapps¥evj6515-84¥WEB-INF¥data>pause  
続行するには何かキーを押して下さい . . .
```

STEP4の画面例 -- ライセンスの設定

**LOGO** Upload File 戻る 印刷 Upload License Activation Ke

**指示**  
 This screen allows you to upload a new activation key file. This activation key file will have been emailed to you by ExtraView Corporation. If you do not have a valid activation key file installed, this installation will not function. Contact ExtraView Corporation Support if you have any questions.

- 1 Press the **Browse** button and select the activation key file to install
- 2 Press the **Upload File** button and the activation key file will be installed.

**操作**  
 Choose activation key file to upload

参照...

1.ここをクリックし、ライセンスファイルを指定します。

Upload File 戻る 印刷

2.ここをクリックします。

**ExtraView™**  
 Your Process. Your World.  
 Copyright © ExtraView Corporation, 1999 - 2011. All rights reserved.  
 Licensed to: NONE - EVID: 0  
 Environment - enterprise - Version best\_data - Release 6.5.1.5 on WS\_A  
 ご不明な点などがございましたら、こちらまでお問い合わせください。

**LOGO** Continue 印刷 Results of activation key update

	Value before update	New value after update
ExtraView ID	0	141331
Customer Name	NONE	TOYO CORPORATION-1309937587
Activation key issue date	2021-01-01 04:00:01.000 +0900	2011-07-06 16:00:00.000 +0900
Technical support expiration date	2021-01-01 04:00:01.000 +0900	2011-08-05 16:00:00.000 +0900
Activation key expiration date	2009-12-30 06:56:06.578 +0900	2011-07-11 16:00:00.000 +0900
Licensing Method	NONE	EVALUATION
Product Version	ExtraView GC	ExtraView GC

お客様の会社名が表示されます。

お客様のライセンスタイプが表示されます。

Your license has been uploaded and installed successfully

Continue 印刷

3.ここをクリックします。

**ExtraView™**  
 Your Process. Your World.  
 Copyright © ExtraView Corporation, 1999 - 2011. All rights reserved.

STEP4の画面例 -- サブステップ2) その1

OGI Use Advanced Administration Mode 印刷 ExtraView

- 電子メール・テンプレート  
issue の更新時に社内ユーザと外部ユーザとの通言で使用する電子メール・テンプレートの作成と編集を行うためのアクセスを制御します。
- ユーザー・アカウント・メンテナンス  
ユーザー・アカウントとユーザー・アカウント詳細の作成と管理のためのアクセスを提供します。
- User Roles  
Create and manage the list of user roles
- データ辞書  
フィールドのタイトル、表示タイプ、基本動作、およびデフォルト値の修正など事前定義フィールド、ユーザー定義フィールド、およびその他のオブジェクトの作成および保守を行うためのデータ辞書へのアクセス。

STEP4の画面例 -- サブステップ2) その2

OGI Use Simple Administration Mode 印刷 ExtraView 管

ユーザー リスト フィールドとレイアウト Display & Reports ワークフロー 電子メール通知 システム制御 **インポート/エクスポート**

- メタデータのXML形式へのエクスポート  
システム・メタデータを XML 形式でアップロードするエクスポート機能へのアクセスを提供します。
- **メタデータのXML形式からのインポート**  
XML エクスポート・ユーティリティを使用して作成された書式設定済みファイルから XML をインポートし、その情報を使用して ExtraView を更新します。このキーを使用する前に、必ずインストールのバックアップを作成してください。
- ファイル・インポート - 項目データ  
レコードが含まれたタブ区切り形式またはカンマ区切り形式のデータ・ファイルのアップロードとインポートを行うファイル・インポート・ユーティリティへのアクセス。
- ファイル・インポート - ユーザ情報  
タブ区切りまたはカンマ区切りのファイルから新しいユーザの情報をアップロードします
- File Import - Data Dictionary  
Import and create new user defined fields in the data dictionary from a tab-delimited or comma-delimited file
- Upload License Activation Key  
Upload and apply a new activation key file to this instance of ExtraView

STEP4の画面例 -- サブステップ3) 翻訳メッセージのインポート

ファイルをアップロードする 戻る 印刷 メタデータのXML形式からのインポート

**指示**

- 1 Make sure you have a fresh backup of your database before beginning the import
- 2 Press the **Browse** button and select the metadata file or ExtraView solution to upload
- 3 Select an action to either **Update/Merge** or **Merge** the import file into the database
- 4 インポート・ファイルと現在の宛先データベースで一致しないリストのタイトルを再マッピングするには、[一致しないタイトルをマッピングする]のボックスをチェックします。タイトルの再マッピングを選択すると、ExtraView はアップロードされたファイルをインポートする前に前処理します。
- 5 Press the **Upload File** button and wait for ExtraView to upload the file. It may take some time to upload the file to the server and to begin the import, according to the size of the import file

**重要：最初に必ずここをチェックします。**

**操作**

アップロードするファイルを選択する 参照...

**Update/Merge:** Update existing records in your database, and insert new records from the import file

**Merge:** Leave existing records without change, and only add new records from the import file

**Localization Update/Merge:** Update existing titles in the non-default locale that match titles in the import file. Leave all other records untouched

アップロードされたファイルと宛先データベースで一致しないタイトルをマッピングする

ファイルをアップロードする 戻る 印刷

STEP4の画面例 -- 翻訳メッセージのインポートの完了 (再起動は必要ありません)

印刷 更新の結果

更新(マージ)データベース内の既存レコードを更新し、インポート・ファイル内の新しいレコードを挿入します

Number of rows read	19,311	
挿入された行数	15,000	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">                 この数字は環境により異なります。             </div>
更新された行数	4,311	
読み込まれたテーブル数	2	

テーブル EV_TEXT_LOOKUP	4,311 を更新	5 を挿入	エラー 0
テーブル TITLE_MAP	0 を更新	14,995 を挿入	エラー 0

メタデータをインポートした後、ExtraViewサーバを再起動してください。

**ExtraView™**

STEP5のプロンプト例:

```
コマンドプロンプト
;
##### STEP5: ExtraViewを起動して翻訳メッセージを再度インポートして下さい。
    1) adminユーザでサインオンして下さい。
    2) [ADMIN] - [Import/Export] - [Metadata XML Import]の順で操作して下さい。
    3) Actions の [Localization Update/Merge] を選択して下さい。
    4) [参照]ボタンを押して、migration¥ExtraViewMetaData.xmlを選択して下さい。
    5) [Upload XML file]ボタンを押して下さい。
    6) 進捗バーが現れて結果画面が表示されるまで暫く待ちます。
##### 6)が終われば、STEP5の完了です。#####

C:¥ExtraView¥Tomcat¥webapps¥evj6515-84¥WEB-INF¥data>pause
続行するには何かキーを押して下さい . . .
```

### STEP5の画面例 -- サブステップ3) 翻訳メッセージのインポート

ファイルを上ロードする   メタデータのXML形式からのインポート

**使用方法**

- 1 インポートを開始する前にデータベースの最新のバックアップを取ってください
- 2 参照 ボタンを押して、アップロード対象のメタデータファイルまたはExtraViewソリューションを選択してください。
- 3 インポートファイルデータベースに更新/マージまたは マージする操作を選択します。
- 4 インポートファイルと現在の宛先データベースで一致しないリストのタイトルを再マッピングするコマ、[一致しないタイトルをマッピングする]のボックスをチェックします。タイトルの再マッピングを選択すると、ExtraViewはアップロードされたファイルをインポートする前に前処理します。
- 5 ファイルをアップロード ボタンを押して、ExtraView がファイルをアップロードするまでお待ちください。インポートファイルの大きさに応じ、ファイルをサーバにアップロード/インポートを開始するのにある程度の時間がかかる場合があります。

**重要：最初に必ずここをチェックします。**

**操作**

アップロードするファイルを選択する

更新/マージデータベース内の既存レコードを更新し、インポートファイル内の新しいレコードを挿入します

マージ既存のレコードを未変更のままにし、インポートファイル内の新しいレコードのみを追加します

**ローカリゼーションの更新/マージ: インポートファイル内のタイトルに一致する、デフォルト以外のロケールの既存タイトルを更新します。その他のレコードは処理しません。**

アップロードされたファイルと宛先データベースで一致しないタイトルをマッピングする

ファイルを上ロードする

STEP5の画面例 --翻訳メッセージのインポートの完了（再起動は必要ありません）

更新の結果

印刷

**ローカライゼーションの更新/マージ:**インポート・ファイル内のタイトルに一致する、デフォルト以外のロケールの既存タイトルを更新します。その他のレコードは処理しません。

Number of rows read	19,311
挿入された行数	0
更新された行数	0
読み込まれたテーブル数	2

この数字は環境により異なります。

テーブル EV_TEXT_LOOKUP	0を更新	0を挿入	エラー 0
テーブル TITLE_MAP	23,476を更新	0を挿入	エラー 0

メタデータをインポートした後、ExtraViewサーバを再起動してください。

**ExtraView**

STEP6の実行結果例:

```

コマンドプロンプト
cat¥common¥lib¥servlet.jar;C:¥ExtraView¥Tomcat¥lib¥common¥servlet.jar;C:¥ExtraView¥Tomcat¥common¥lib¥servlet-api.jar;C:¥ExtraView¥Tomcat¥lib¥servlet-api.jar;C:¥ExtraView¥Tomcat¥webapps¥evj¥WEB-INF¥lib¥evj6515-84.jar com.extraview.util.dbpatches.SQLRunner 6 TY_to_japanese.sql
Attempting to Open Log File: C:¥ExtraView¥Tomcat¥webapps¥evj¥WEB-INF¥logs¥EVJ.log
data directory path = C:¥ExtraView¥Tomcat¥webapps¥evj¥WEB-INF¥data¥dbpatches¥oracle¥TY_to_japanese.sql

C:¥ExtraView¥Tomcat¥webapps¥evj¥WEB-INF¥data>rem sqlplus extraview/ev@ev @migration¥to_japanese.sql
##### STEP6が完了しました。

C:¥ExtraView¥Tomcat¥webapps¥evj¥WEB-INF¥data>pause
続行するには何かキーを押して下さい . . .
    
```

upgrade.bat終了直前の状態:

```
コマンドプロンプト

;
##### ExtraViewのアップグレードが完了しました。
##### この状態でいったんExtraViewデータベースの
##### バックアップを取得することをお勧めします。
#####
##### バックアップを取得し終わったら、ExtraViewを
##### 再起動して正しく動作することを確認して下さい。

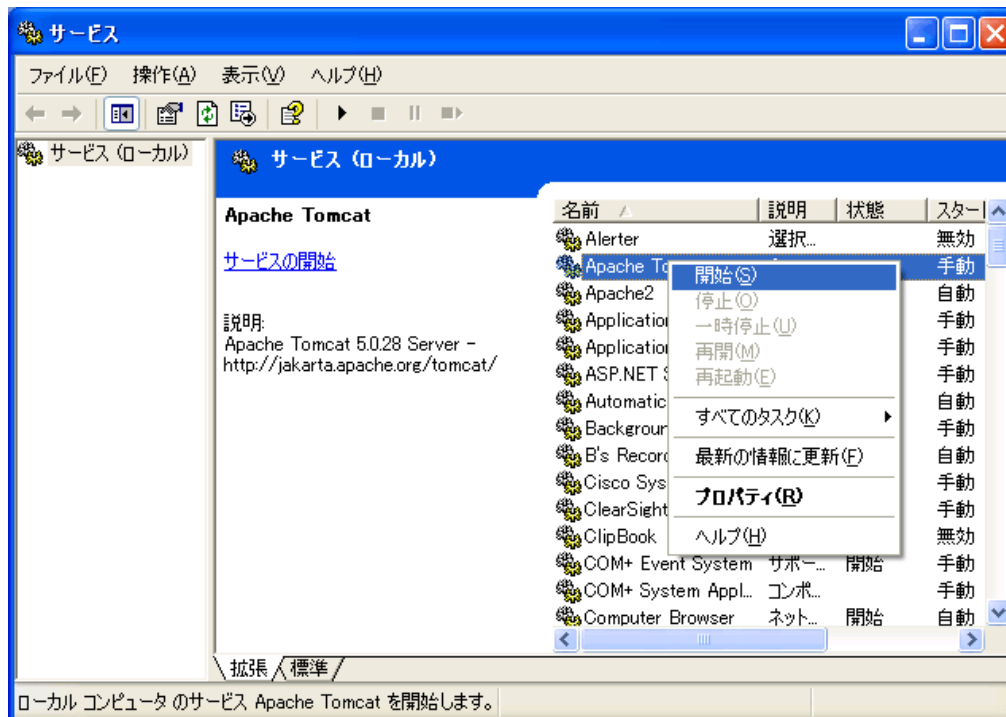
C:\¥ExtraView¥Tomcat¥webapps¥evj¥WEB-INF¥data>pause
続行するには何かキーを押して下さい . . .
```

## ExtraView を再起動

アップグレードを行った ExtraView アプリケーションを再起動します。

Windows サービスメニューの Apache と Tomcat を起動します。

実行例を以下に示します。



## ナビゲーション・バーの設定を変更する（該当ユーザのみ）

ExtraView6.5.1 では、ユーザ・インターフェースをいくつかのテーマから選択することが可能です。  
（選択可能なテーマについては、[管理] > [詳細管理モードを使用] > [表示とレポート] > [ユーザ・インターフェース・テーマ]をご参照ください）

この変更にともない、縦方向のナビゲーション・バー（[ADMIN][SEARCH]などのメインメニュー）が、正しく表示されない場合が発生します。これまでナビゲーション・バーを縦方向に表示していた場合は、以下の操作で横方向のナビゲーションに変更してください：

[管理] > [詳細管理モードを使用] > [表示とレポート] > [ユーザ・インターフェース・テーマ]の順で操作します。

[ユーザ・インターフェースのテーマ]画面において、横方向のナビゲーション・バーのテーマを選択してください。例を以下に示します：



The screenshot shows the 'ExtraView Home' dashboard. At the top, there is a navigation bar with 'Home', 'Add', 'Query', 'Admin', 'Help', and 'Sign Off' links. Below this, there are several data visualization components: a 'Summary of Values' table, a 'Open Issues by Business Area' pie chart, a 'Key Drivers' pie chart, and a 'Open Issues by Priority' bar chart. At the bottom, there is a table titled 'My Open Issues' with columns for 'Area', 'Product', 'Module', 'Last Modified', 'Priority', 'Severity', and 'Title'. The table contains several rows of issue data.

Area	Product	Module	Last Modified	Priority	Severity	Title
Support	Helpdesk	Tractor	9/5/10 4:31 PM	P 1	Low	Prevention of TRCP problem in ELM3201
Support	Customer Support	Processor	4/7/10 2:48 PM	P 2	Low	Need to know how exclusive it's are processed internally
Support	Customer Support	Tractor	4/7/10 2:48 PM	P 2	Low	Customer called to say he did not receive the course and sent an invoice
Support	Helpdesk	Database	4/7/10 2:33 PM	P 3	Low	There is a defect in the admin module when a user makes an error
Support	Helpdesk	Tractor	8/16/08 9:51 PM	P 3	Low	The user could not be off center
Support	Helpdesk	Tractor	4/7/10 6:30 PM	P 3	High	Authorization to provide a new telephone extension for new employees - Frank Bell

薄いブルーのカラー・テーマと横方向のナビゲーション・バー

選択後、[更新]ボタンをクリックします。

新しく選択されたユーザ・インターフェース・テーマは、次回ログイン時に適用されます。

## 5. 付録

---

### ExtraView 環境のバックアップ

ExtraView 環境をバックアップするには、Oracle データベースを dmp ファイルへエクスポートし、その dmp ファイルをバックアップします。

実行手順：

23. コマンドプロンプトを開き、バックアップ対象である Oracle 表領域のファイルが存在するディレクトリへ移動します。

```
cd C:\¥ExtraView¥database
```

24. 次のコマンドを実行します。

```
> set NLS_LANG=American_America.UTF8
> exp system/<パスワード>@<SID> file=<ファイル名.dmp> compress=n
consistent=y owner=<所有ユーザ>
```

(コマンドが長いので 2 行になっていますが、実際は 1 つのコマンドです。)

エクスポートする dmp ファイル <ファイル名.dmp> は自由な名前付けで構いませんが、拡張子は dmp として下さい。

<所有ユーザ> には、ユーザ名を指定します。この実行例では、extraview となります。

ここでの <パスワード> は、Oracle データベースの system アカウントに対するパスワードです。この Oracle データベースが「新規データベースの作成」において新規作成されたものであれば、その際に設定したパスワードをここで指定します。既存データベースの場合、具体的な <パスワード> が何であるかは、御社の Oracle システム管理者にお問い合わせ下さい。この実行例では、system アカウントのパスワードを systempw としています。

<SID> の部分も、「新規データベースの作成」で設定した SID に置き換えます。既存データベースの場合、具体的な SID が何であるかは、御社の Oracle システム管理者にお問い合わせ下さい。この実行例では、SID を ev としています。

compress および consistent には、固定でそれぞれ n および y を指定します。

## コマンドプロンプト

```
C:\¥ExtraView¥database¥v651>set NLS_LANG=American_America.UTF8

C:\¥ExtraView¥database¥v651>exp system/systempw@ev file=test651.dmp compress=n
consistent=y owner=extraview

Export: Release 9.2.0.1.0 - Production on Tue May 30 09:40:08 2006

Copyright (c) 1982, 2002, Oracle Corporation. All rights reserved.

Connected to: Oracle9i Enterprise Edition Release 9.2.0.1.0 - Production
With the OLAP and Oracle Data Mining options
JServer Release 9.2.0.1.0 - Production
Export done in UTF8 character set and UTF8 NCHAR character set

About to export specified users ...
. exporting pre-schema procedural objects and actions
. exporting foreign function library names for user EXTRAVIEW
. exporting PUBLIC type synonyms
. exporting private type synonyms
. exporting object type definitions for user EXTRAVIEW
About to export EXTRAVIEW's objects ...
. exporting database links
. exporting sequence numbers
. exporting cluster definitions
. about to export EXTRAVIEW's tables via Conventional Path ...
. . exporting table          ALLOWED_FUNCTIONS          590 rows exported
. . exporting table          ALLOWED_LOCALE             2 rows exported
. . exporting table          ALLOWED_VALUES              0 rows exported
. . exporting table          ALLOWED_VALUE_TYPE         0 rows exported

...
...

. . exporting table          USER_GLOBAL              49 rows exported
. . exporting table          USER_SESSION              1 rows exported
. exporting synonyms
. exporting views
. exporting stored procedures
. exporting operators
. exporting referential integrity constraints
. exporting triggers
. exporting indextypes
. exporting bitmap, functional and extensible indexes
. exporting posttables actions
. exporting materialized views
. exporting snapshot logs
. exporting job queues
. exporting refresh groups and children
. exporting dimensions
. exporting post-schema procedural objects and actions
. exporting statistics
Export terminated successfully without warnings.
```

実行すると、いくつかの「exporting xxxxxx」というメッセージが、コマンドプロンプトに出力されます。

正常終了した場合、最後に「Export terminated successfully without warnings.」というメッセージが表示されます。

25. 通常のバックアップ手順にしたがって、エクスポートした dmp ファイルをバックアップします。

## ExtraView 環境のリストア

ExtraView 環境をリストアするには、バックアップした dmp ファイルを Oracle データベースへインポートします。

実際の手順は、ExtraView セットアップ・ガイドの「新規データベースの作成」「Oracle 表領域の作成」「Oracle ユーザ (スキーマ) の作成」「best\_data のインポート」をご参照下さい。ExtraView セットアップ・ガイドの「best\_data のインポート」で示した手順の中の dmp ファイル名を、バックアップした dmp ファイル名に置き換えることによって、ExtraView 環境のリストアを実行することができます。

